

危機管理教育研究所も提案！ 命のポーチ!?

災害・事故・事件・怪我…緊急時にスマホの有無が運命を左右する！

スマホを肌身離さず持てる「おうちスマホポーチBOOK」7/29発売



スマホを肌身離さず持ち歩けるポーチが付録の『素敵なおの人特別編集 おしゃれで軽量、ストレスフリーに動ける おうちスマホポーチBOOK』を2024年7月29日（月）に発売します。

本誌の特別付録「おうちスマホポーチ」は、危機管理教育研究所代表・国崎信江さんが提案する、「命のポーチ」をもとに誕生しました。「命のポーチ」とは、危機管理に役立つ必要最低限のものを日常生活で身につけようというもの。災害で生き埋めになったとき、家に強盗が入ったとき、出先で緊急避難をしなければいけないとき、家の中で不意に倒れたとき、スマホが手元にあるかどうかで運命を左右します。

TABASAとコラボしたおしゃれなポーチは、スマホはもちろん、鍵、貴重品、眼鏡など、いざというとき役立つアイテムが入り、重量約91gというつけていても気にならない軽さです。両手が使えて家事や仕事の邪魔にならず、ベルトは前で着脱できるので、取り外しが簡単なのも嬉しいポイント。おしゃれで軽量なので、ウォーキングや犬の散歩、庭・畑仕事など、おうち以外のシーンでも活躍します。このポーチで、スマホを常に身につける習慣をつけましょう。

TJ MOOK『素敵なおの人特別編集 おしゃれで軽量、ストレスフリーに動ける おうちスマホポーチBOOK』
発売日：2024年7月29日／価格：2680円(税込)



転倒・閉じ込め・空き巣に遭遇…etc.
スマホがなくて困ったリアル事件簿も掲載！

便利なスマホも手元になければ、「もしも」のときに使うことができません。誌面には、実際にあった「スマホが身近にあれば防げたかもしれない」事故や事件を掲載！

軽量でポケット感覚で使える！ 家事や仕事中…常にスマホを手元に

ベルトは前でラクに着脱できる！



内側は爽やかなポードー柄。
便利なペンホルダーつき♪



ポーチサイズ（約）：
縦22×横19cm 重量（約）：91g

生地には撥水加工が施されているので、水仕事や外使いもOK。

斜めスリットのポケットだから、出し入れしやすい！



TABASAの刺繍ロゴがオシャレ



ストラップにはナスカンつき。鍵などをつければ、必要なときにすぐに引き出せる！

危機管理の専門家お墨つき！ “命のポーチ”を身につける習慣を！



危機管理教育研究所代表 国崎信江さん

本アイテムは、薄くて軽いことに加えて、取り外しが容易なので、「命のポーチ」として使うのに最適だと感じました。「命のポーチ」とは、危機管理に役立つ必要最低限のものを日常生活で常に身につけましょう、という提案です。ポーチは普段から身につけていないと意味がないので、夜寝るときに外して身近に置き、朝起きたらまた身につける。この習慣づけをぜひしてみてください。



能登半島地震、羽田空港衝突事故と、今年の年明けは非常時の心構えについていろいろと考えさせられるできごとが立て続けに起きました。そこで、すぐに助けを呼べたり、連絡が取れたり、スマホが常に身近にあることがいかに重要かと考え、家の中でも外でもスマホを常に持ち歩けるポーチを企画しました。スマホが手元にあることで、危機を救えることがあります。このおうちスマホポーチは薄くて軽量で家事のときも邪魔にならず、TABASAとコラボしたおしゃれなデザインもポイントです。毎日愛用していただけたら嬉しいです。



ムック局 第2編集部 佐藤瑞恵